社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院

OUR HOSPITAL

くりはし

1月号

2021年 No.86

「疾走するＩＣＴレンジャー」　第32回杉戸町新春マラソン大会　古瀬 裕一

Topics
災害対策室 新設にあたり（１）

Information News
外来診療日程の変更について

院長だより
ご来院の皆様へのお知らせ
地域連携医療施設紹介 ／ とねっとからのお知らせ
Information News ／ さいくりHP物語

当院キャラクター
こころん

院是　心

先端医療の進歩が一段と加速するであろう21世紀において
医療に従事するものにとって失うことの許されない最も大切なものと考えます。

院　是

心

院是である“心”は、
先端医療の進歩が一段と加速されるであろう21世紀において、
医療に従事する者にとって、失うことの許されない最も大切なものと考えます。

理　念

医療現場で働く喜びを自覚し、医療を通して社会と地域に貢献します。

基本(品質)方針

1. 病院を訪れる患者さんや、その家族の心の痛みを見逃さない、心温まる医療を提供します。
2. 常に最新の医療知識と技術の修得に努め、有機的な多職種連携によるチーム医療を追求します。
3. 住み慣れた地域で、いつまでも患者さんが自分らしく暮らせるよう、安全で安心な医療を継続的に提供します。
4. この地域で継続的な質の高い医療を実践できる事業体となるため、絶えず経営改善に努めます。
5. 患者さんを大切にするように、職員も大切にします。

患者さんの権利

1. 人格を尊重される権利
2. 適切な医療を平等にうける権利
3. 医療上の情報を知る権利
4. 医療上の行為を選択できる権利
5. プライバシーを保護される権利

医療費の支払いにお困りの方はご相談ください。（無料低額診療事業）

済生会栗橋病院では、医療費にお困りの方に対し、自己負担額の減額・免除を行っています。
世帯の収入額や家庭状況等を勘案し、ご相談のうえ決定します。
詳しくは、福祉相談課までお問い合わせ下さい。

なでしこプランについて

済生会では、現代社会のさまざまな問題や課題に対応すべく「生活困窮者支援事業（なでしこプラン）」を展開しています。当院では、以下の3事業を積極的に行っています。

【なでしこ健診事業】
主にDARC（ダルク）（薬物依存症リハビリテーションセンター）の入所者を対象に、無料の健康診断や健康相談を実施しています。

【出張市民講座】
地域住民からの要望により、無料でスタッフを派遣し健康や医療についての講演を実施しています。

【医療アクセス支援事業】
包括支援センター、市、社協等と連携を行い、医療受診ができない方や、うまく継続できない方を対象に、無料で家庭訪問を実施しています。

地域生活定着支援センターとの協力について

済生会栗橋病院では、矯正施設の出所予定者で高齢や障害のため医療支援が必要な方々に対して、出所後すぐに医療が受けられるように、保護観察所等との連携により、必要に応じた医療行為の提供を積極的に行っています。

問い合わせ

済生会栗橋病院　福祉相談課　TEL　0480-55-1000（直通）
受付時間　月～金曜日　9：30～16：30（休診日を除く）

院長だより

みなさま明けましておめでとうございます

昨年１年はCOVID-19の対応に全世界が振り回された年でした。世界中で医療機関にコロナ患者さんが溢れ、欧米では医療崩壊の危機に数度襲われました。日本も比較すれば、まだ患者さんの数は少ないですが、それでも通常診療が出来なくなったり、受診の抑制から経営的にさらに厳しいところにまで追いつめられた医療機関が多数ありました。当院も例外でなく、夏期賞与の減額に踏み切らざるを得ませんでした。職員の方々には大変な負担を強いて心苦しく思います。

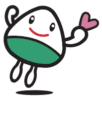
この原稿を記している12月初旬には、第３波の感染が拡がりつつあります。

当院では、埼玉県からの要請も受け、また11月30日よりフェーズ４の段階に入ったことなどから、駐車場に70床のコロナ専用病床を整備することにしました。2021年２月下旬には完成する予定です。地域を越えてコロナ患者さんの診療体制を充実させたいと考えています。第３波の急速な拡大は、ある意味必然に近いものと思われます。人の移動に伴いウイルスも運ばれますから、現在のように外出に抑制がかかっていない状況では、なかなか感染者を減らすことは出来ないでしょう。この新規感染症に直面して、世界中で共通の課題は、感染の封じ込めと経済活動の両立です。外出制限と経済活動をどのように調節するかの舵取りが難しいところです。経済活動の縮小が、10月の女性の自殺者数が昨年を上回っているという統計に、あるいは関係があるのかもしれません。現在の社会の閉塞感のみならず経済的にも厳しいこと、さらに将来への不安がこの増加を引き起こしているのではないかと推察されます。従って何らかの経済的な刺激策、支援策が必要でしょう。一方、医療者の立場としては、何とか感染者が増えないような施策をとっていただき、通常診療とコロナ診療が両立できる程度に抑えてもらいたいと思います。

新しい年は、当院にとって、新病院への移行前の１年として大変重要な年となります。再整備計画準備室が中心になり、今後建物の内装、医療機器やシステムなど多岐に亘る事項を決定していくことになります。現在まで概ね順調に進んでいると思いますが、コロナ診療の行方と相俟って予断を許さないところもあります。医師も増員する必要があります。幸い来年度の臨床研修医は４名既に内定しております。12名の面接を行い、フルマッチでした。また内科専攻医も１名決定しています。ゆくゆくは当院での医師の育成がさらに軌道に乗ることが期待されます。医療資源の不足がちな利根保健医療圏にあって、このように若い先生達が集ってきてくれることは私達の希望の灯火です。より高いレベルの研修を用意し、さらに全国より切磋琢磨する若手医師が集まってくれることを願っています。

現在イギリスを中心にコロナワクチンの接種が始まろうとしています。これはmRNAワクチンと呼ばれるもので、SARS-CoV2の遺伝子の一部を体内に注入し、その蛋白質をヒトの細胞内で合成させ抗体産生を促すものです。副作用もまだ不明ではありますが、一定の効果を上げてくれると思います。このワクチンにより１年後には今より微笑みの多い時間を過ごせるように期待しています。

最後に、みなさまの健康が支えられ実り多い１年となりますようにお祈り申し上げます。



院長　長原　光

災害対策室　新設にあたり（1）

災害対策室 室長　染谷 光一

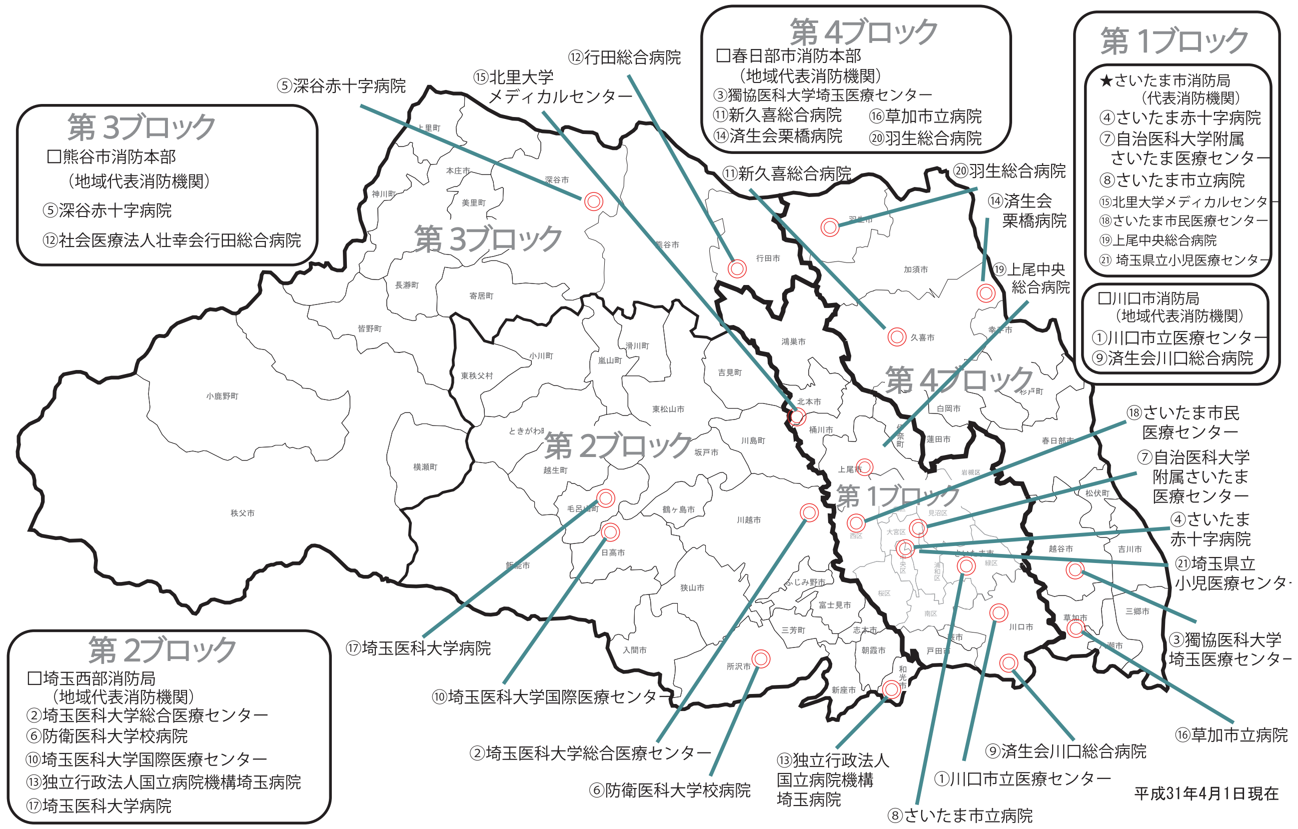
令和２年において当院に災害対策室が新設されました。その初代室長に就任することになりました染谷と申します。以前は、リハビリテーション科で理学療法士として勤務しておりました。新設されました「災害対策室」では今後どのような活動を進めていくのか説明いたします。今号では「災害」とは何か、病院との関係について説明します。

☆　災害について

WHO では「被災地外からの救援を必要とし､生活環境に甚大な被害を及ぼす突然の現象で、直接的に長期に公衆衛生と精神保健上の問題を起こす事態」と定義されています。例えば、地震、洪水、火災、噴火などの自然災害、交通災害、産業災害や列車事故などの人為災害、化学物質や爆発物によるテロ行為があります。

災害が起きたときに必要となるのが「災害医療」です。通常の医療では、傷病者に現有する医療資源を最大限つぎ込むことが可能です。しかし、災害時には現有する医療資源を大きく上回る傷病者が発生し資源と供給のバランスが崩れます。「最大多数の傷病者に現有医療資源を効率よく用い、防ぎえた災害死を最大限防ぐ」ことが災害医療であり、それを担う拠点が「災害拠点病院」です。

図１　埼玉県 DMAT 指定病院位置図



引用元：埼玉県庁ホームページ「埼玉 DMAT について」

☆　災害拠点病院

災害拠点病院とは県内や近県で災害が発生し、通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を確保することが困難な状況となった場合に、埼玉県知事の要請により傷病者の受け入れや医療救護班の派遣等を行う医療機関です。現在埼玉県においては、22 か所の災害拠点病院 (うち３か所の基幹災害拠点病院) があります（図１）。

災害拠点病院の主な要件としては､①建物が耐震耐火構造であること｡②資器材等の備蓄があること。③応急収容するために転用できる場所があること｡④応急用資器材、自家発電機、応急テント等により自己完結できること。（外部からの補給が滞っても簡単には病院機能を喪失しないこと）⑤近接地にヘリポートが確保できること｡⑥自己完結型の医療救護チーム（DMAT）の派遣機能があること。等があります。

☆　医療救護チーム：DMAT

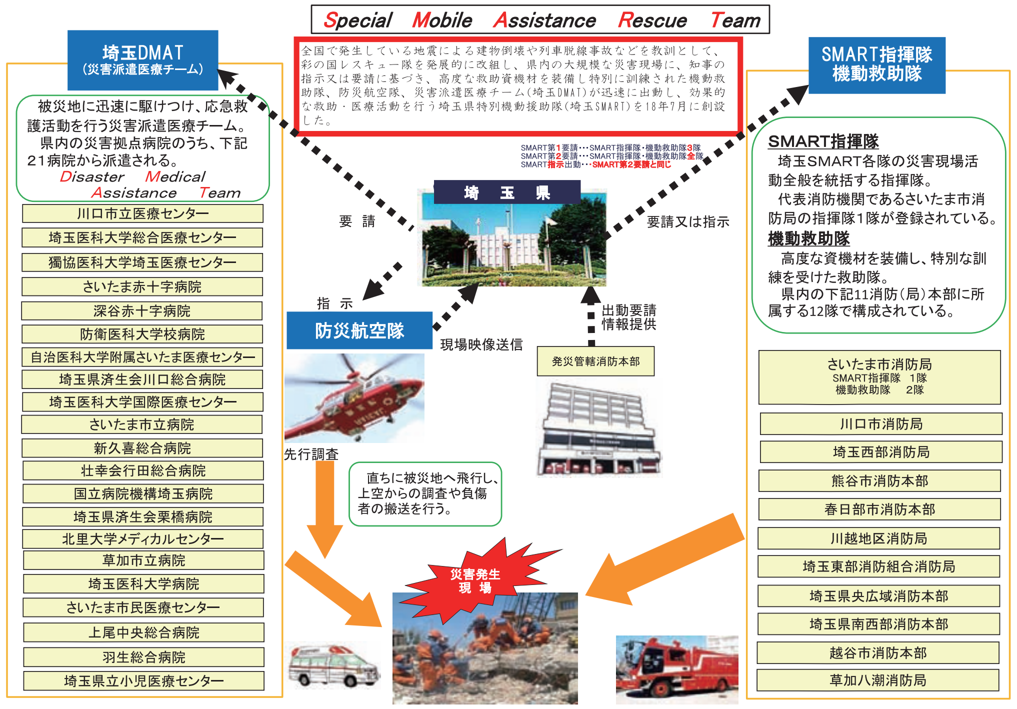
DMAT とは「災害急性期に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。災害派遣医療チーム「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとって略して DMAT（ディーマット）と呼ばれています。

チームの構成員は、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね 48 時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院には現在、医師：３名　看護師：６名　業務調整員：３名の隊員がいます。活動の際は、４～５名を１チームとして、発災後から 24 ～ 48 時間に活動をします。主な活動は①拠点本部活動､②病院支援､③現場活動､④医療搬送､⑤医療情報収集等、多岐にわたります。DMAT の意義は、他組織の医療支援活動が開始されない急性期に速やかな活動を開始することにあり、48 時間以降は徐々に他組織に活動を引き継いでいきます。

また、埼玉県では埼玉 DMAT と消防局機動救助隊、埼玉県防災航空隊から編成される埼玉県特別機動援助隊（Special Mobile Assistance Rescue Team　通称：埼玉 SMART）として、県内の大規模な災害現場に知事の指示又は要請に基づき、効果的な救助・医療活動を行います。そのイメージについては図２を参照してください。

図２　埼玉県特別機動援助隊（埼玉 SMART）の連携イメージ



※2019 年
埼玉 DMAT22 病院
戸田中央病院　加入

新型コロナウイルス感染症病棟の建設に伴う
第２駐車場の減少について

日頃から当院の運営にご理解をいただきましてありがとうございます。
さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨今の感染者数の増加に対応するために、埼玉県では、１４００床の入院病床の確保を計画しています。
このたび、埼玉県の要請に応じて、当院では、第２駐車場に新型コロナ専用病棟と発熱外来を整備することとなりました。この整備により、病院本体とコロナ病棟を分離することとなり、当院を受診される皆様の感染防止にも効果的であると考えます。なお、新型コロナ専用病棟の建設工事と運営期間は下記の通り予定されておりますが、その間、第２駐車場が縮小されることとなり、多くの皆様にご不便をお掛けすることとなりますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

建設工事　　２０２０年１１月２５日から２０２１年2月２８日

運営期間　　２０２１年3月１日から２０２２年３月３１日

【 入院患者様のご家族様へのお願い 】

現在、当院の入院患者様へのご面会は原則として禁止とさせていただいております。生活必需品および洗濯物等を入院患者様に届ける場合については、以下の時間に限定させていただきます。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

＜入院患者様へのお荷物のお預かり時間＞

１４時～１６時

担当窓口	平日・祝日：正面玄関　総合案内
	土・日：救急外来入口　防災センター警備室

※上記の時間以降は翌日の取扱いとなりますので、ご注意下さいますようお願いいたします。
※現金、食品（惣菜、果物など）のお届けはご遠慮下さい。

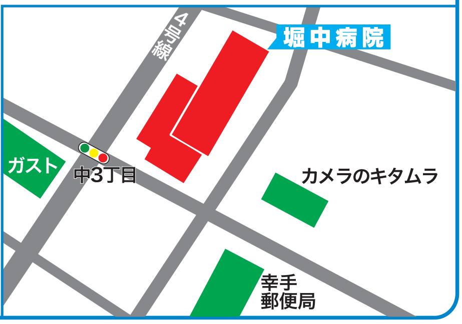
堀中病院

登録医番号 179

堀中　晋（ほりなか　すすむ）先生

　当院は、昭和 42 年に幸手市に開院しました。整形外科はリハビリテーションの充実、骨粗鬆症対策に力を入れて診療しております。
一般内科は、生活習慣病、循環器内科は、不整脈（ペースメーカー植え込み術）消化器内科は、胃ろう造設、内視鏡に力を注いでおります。隣接に、老人保健施設幸手ナーシングを併設しております。

標榜科目	一般内科、循環器内科、神経内科、消化器内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、婦人科、皮膚科
受付時間	内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科 9:00～12:00 15:00～18:00 ※循環器内科は金曜日休み ※その他の診療科につきましては病院ホームページをご覧下さい。
休 診 日	土曜午後、日曜日、祝日
住　　所	幸手市東3-1-5
電話番号	0480-42-2081
U R L	http://www.horinaka-byouin.com



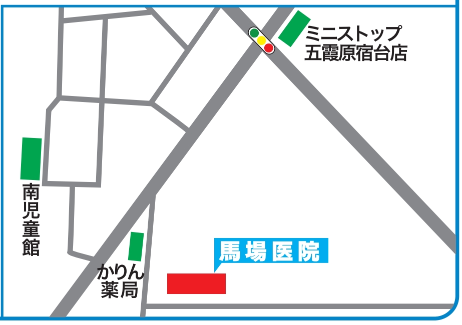
馬場医院

登録医番号 180

馬場　良（ばば　りょう）先生

　当院は成人病、呼吸器アレルギー疾患の診療を主とする、内科系クリニックです。当院の最大の自慢は、職員の質が高いことです。技術的にも人間的にも。
　現在、コロナ禍で、大変な世の中になっています。近い将来、人類がこの難局を乗り越えて、以前の様な、穏やかな社会を、再び取り戻すことを祈念しております。

標榜科目	内科、胃腸科、循環器内科、小児科
受付時間	9:00～12:00　14:00～18:00
休 診 日	土曜・日曜午後、水曜、祝日
住　　所	茨城県猿島郡五霞町元栗橋7264
電話番号	0280-84-3721



「とねっとからのお知らせ」

「とねっと」は、救急現場でも活用されています。　※ 参加費は無料です。

　「とねっと」は、久喜市、加須市などの９市町や済生会栗橋病院などの医療機関等で構成され、患者さんの医療情報を共有し活用するシステムです。０歳から 100 歳超まで 34,200 人余りの方が参加しております。

■「とねっと」参加者の救急搬送人数　2,916 人　（平成 24 年７月～令和２年９月）

■救急搬送の活用事例

① 52 歳、男性、急性心筋梗塞 作業中に発症、「とねっと」加入者のため、病歴・かかりつけ医等を把握、スムーズに病院に搬送することができた。	② 69 歳、女性、脳梗塞 会話中に、突然発語ができなくなり、「とねっと」からお薬などの登録情報を確認し、病院に搬送することができた。

詳しくは「とねっと」事務局（☎0480－63－0003）まで。

とねっとホームページ　http://www.saitama-tonet.jp/

Information News

祝日の外来診療、人間ドックに関するお知らせ

国民の祝日につきまして、外来診療、人間ドック・健康診断を行いますのでお知らせいたします。

２０２１年1月11日（月）	（成人の日）
２０２１年2月11日（木）	（建国記念の日）
２０２１年2月23日（火）	（天皇誕生日）

※2020年12月29日（火）～2021年1月3日（日）の年末年始は休診といたします。

＜人間ドック・健康診断に関するお問い合わせ＞
電話　０４８０－５３－０５７５（健診センター直通）
平日（月～金曜日）１０：００～１６：００

さいくりHP物語

作画 ロビタ

〈当院への寄付・寄贈一覧〉

順不同（2020/12/15 現在）

寄付・寄贈者	内　容
KAZENホールディングス（株） 様 （一社）久喜市医師会 様	サージカルマスク
コカ・コーラボトラーズジャパン（株） 様	飲料
城戸 靖彦 様	透析用加温器

医療の現場に対するお心遣いに感謝申し上げます。
頂戴いたしましたご支援は有効に活用させていただきます。

発　行　埼玉県済生会栗橋病院
〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門714-6
TEL:0480-52-3611 FAX:0480-52-0954 https://www.saikuri.org/

受付時間　月～金 8:00～11:00　予約診療の方は 8:00～16:30　※診療科により異なりますので、各科の診療日程表をご覧ください。
※紹介状のない患者さんは初診時選定療養費4,400円がかかることがあります。

休診日　土曜日・日曜日・年末年始（12月29日～1月3日）
休診日・夜間は救急対応となります。受診に際しては、事前に電話でご確認ください。

診療科　内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、漢方内科、血液内科、循環器科、小児科、外科、呼吸器外科
乳腺外科、内視鏡外科、心臓血管外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、整形外科、形成外科
リハビリテーション科、救急科、放射線科、麻酔科

＜発行人＞長原光　＜編集委員＞杉浦秀和・染谷光一・佐藤祥子・安田ひとみ・深谷里子・古瀬裕一
＜発行日＞2021年1月4日